



平成26年10月31日

各位

上場会社名 英和株式会社
 代表者 代表取締役社長 阿部 健治
 (コード番号 9857)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理本部長 山根 理伸
 (TEL 06-6539-4801)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,200	220	220	115	17.77
今回修正予想(B)	15,320	320	325	180	28.43
増減額(B-A)	1,120	100	105	65	
増減率(%)	7.9	45.5	47.7	56.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	12,124	109	135	65	10.35

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,500	730	730	385	59.51
今回修正予想(B)	32,000	730	730	385	59.51
増減額(B-A)	500	—	—	—	
増減率(%)	1.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	30,446	677	713	376	59.49

修正の理由

1. 平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想

当第2四半期連結累計期間においては、プラント・エンジニアリング、石油化学、機械製造業界等での設備更新投資が堅調に推移した他、船用機器製造業界向け需要の回復も見られ、当社の主力とする工業用計測制御機器の売上が増加しました。また、政府補正予算による官公庁向け災害対策用特殊車両や産業車両、及び引き続き導入が活発なメガソーラー関連付帯機器の販売が好調で、民間向け産業プラントの大口受注もあって産業機械の売上が大きく伸長し、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益が前回予想を上回る見込みです。

2. 平成27年3月期通期連結業績予想

当社グループの事業領域においては、公共投資や民間企業の国内設備投資に回復が見られ、受注は堅調に推移しておりますが、今年度の好調な売上が大きく牽引しているメガソーラー関連機器市場においては、再生可能エネルギー固定価格買取制度の見直しが決定的など、先行きが不透明な状況となっております。この為、通期の売上高予想につきましては、当初の予想より若干の上積に留めております。一方、今後増加する大口産業機械案件の採算が予想を下回る、価格競争が激化する、また、昨年度好調であった上海現地法人の業績が低迷し利益額が減少することなどから、営業利益、経常利益、及び純利益は前回発表予想を据え置いております。なお、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合には、速やかに公表いたします。

(注)本資料で記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

以上